



# 兵庫支部 NEWS H19 8月号

北九州市立大学同窓会兵庫支部 編集発行人 名越英昭 (Tel.078-792-6130)  
ホームページ: <http://www.hi-net.zaq.ne.jp/kono> メール: [hn75kb@ybb.ne.jp](mailto:hn75kb@ybb.ne.jp)

購読料 12回1,500円 (送料込)  
購読のお申し込みは郵便振替  
振替口座 00980-2-245822  
口座名: 北九州市立大学同窓会兵庫支部

## 兵庫支部月例会 7月「三金会」レポート

### 支部総会収支はトントン

7月20日(金)午後6時から、すなっく「フリージア」にて、「囲碁の会」の後を受けて「三金会」が開催された。

出席者:

- 銭谷勘一郎 (39米英)
- 大村実良 (33商)
- 平間正昭 (37商)
- 名越英昭 (37米英)
- 二宮慶治郎 (38米英)
- 前原賢作 (40商)
- 安德信義 (44商)
- 松山 仁 (44商)
- 大岡一成 (会友)



以上9名

### 支部総会収支について

支部総会が終了しホッとした空気の中、暫く雑談が続く。支部総会・懇親会の話題が中心となる。事前に松山会計幹事からメールで報告のあった収支報告によると、余剰金23,000円となっているが、この中から、写真代と送料、総会パンフ作成費用などを支払う予定で、最終的には収支トントンといったところだが本部からの総会助成金一人当たり1,000円が送金されるとその分だけ残る予定だ。

なお、今回は戸田徳治(33商)山本信司(37米英)前原賢作(40商)川村進(44米英)の各氏から合計8万円もの浄財をいただき、船仁のるか(司会)長崎晶(歌手)および生田神社での御祓い等の費用を賄うことができ役員一同感謝。

また、懇親会会場で募りましたインドでボランティア活動をする高森千賀子さんへの支援金は19,130円となったことが報告された。

### 本部総会パンフ広告出稿について

10月28日(日)に開催される本部総会・懇親会のパンフに出稿すべき広告を、例年通り1/2ページで出稿することとし、広告内容を一新して、「三金会」への案内を主体としたものにする。特に銭谷支部長の要望に基づき「神戸らしい大人の雰囲気」のある原稿を安德幹事長が中心となって作成することになり、8月三金会で決定することになった。

(次ページへ続く)

## 秋季三金ゴルフ開催要領決まる

### 9月28日(金)-29日(土) ゴルフ+湯郷温泉パック

三金ゴルフ会では、秋季の三金ゴルフコンペの日程を決定した。

今回で28回目を迎える「三金ゴルフ」は久しぶりの一泊ゴルフとなる。

9月28日(土)湯郷温泉「ゆのこう春美閣」に集合し、(所在地は右図参照)飲み放題の懇親会を楽しみ、翌日、三日月CCでゴルフコンペを開催する。

開催要領は下記とおり。

### 第28回三金ゴルフコンペのご案内

開催日: 9月28日(金)~29日(土)

宿泊場所: 湯郷温泉「ゆのこう春美閣」

〒707-0061岡山県美作市中山奥湯郷

Tel. 0868-72-8111

(中国道美作I/Cから約10分一上図参照)

ゴルフ場: 三日月カントリークラブ

〒679-5132 佐用郡佐用町(旧三日月町)

下本郷字杉谷574-33

Tel.0790-79-3388

(中国道佐用I/Cから1.2km)

料 金: ①宿泊費(一泊2食)及びプレー費  
(但しゴルフ場での飲食費は含まず)  
¥19,500.-

②参加費@¥2,000.-別途徴収予定

③交通費: 車に分乗、車ごとで割り勘

申込先: 松山 仁 (44商) 三金ゴルフ会会長

Tel. 078-232-1877 Fax. 078-252-0902

携帯電話 090-3286-2979

E-mail: [j.matsuyama@viking-kobe.co.jp](mailto:j.matsuyama@viking-kobe.co.jp)

申込締切日: 第1回: 8月31日(金)

その他詳細は、松山会長にお問い合わせ下さい。



損害保険・医療保険・がん保険  
の総合保険代理店

安心の発信基地

## 大村保険サービス

代表 大村実良  
(昭和33年商学部卒)

652-0897

神戸市兵庫区駅南通3丁目4-1-302

TEL 078-671-7318 FAX 078-671-8316



## 兵庫支部月例会『三金会』会場

毎月第三金曜日午後6時~8時、囲碁の会午後3時~  
すなっく

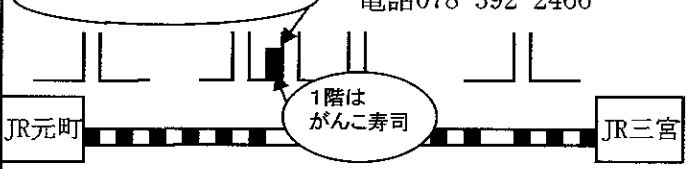
# フリージア

神戸市中央区北長狭通2-5-1

タイシンサンセットビル6F

電話078-392-2466

お気軽においで下さい



## 暑中お見舞い申し上げます

「足という字」の大切さを学びました

兵庫支部長 銭谷勘一郎(39米英)



お蔭さまで7月7日、生田神社会館での第21回総会もおごそかに、たのしく、盛会のうちに終了致しました。出席者の皆様、役員の方々に感謝しております。なお、本部より御出席賜りました同窓会長山下建治氏からも丁寧な御礼のハガキを頂いております。

(銭谷支部長) 囲碁の会の方々にもよろしくとの事です。

さて、私ごとですが、肝臓ガンの切除手術をして、5ヶ月が経ち、毎日、体力の回復を目指しておりますが、仲々、集中力が戻らず、はがゆい思いをしています。直腸がんのため、直腸も大部分を切除しましたので、「おナラ」のコントロールがむづかしく、これも悩みの種の一つです。そのような日々を過ごしていますが、入院中に学習した事があります。それは「足」という字です。

## ①「足(タ)るを知る」

人間の幸福度を計る方程式は  
幸福度＝欲望の充足÷欲望の大きさ  
といわれています。ですから「小欲知足」が幸福のもとと先人は教えています。



(吾唯足知)

私が肝臓の手術を終え、集中治療室から一般病室に戻り、ふと、おだやかに目覚めた折、大きなガラス窓から青空を眺めました。「あ、生きてるんだ」と実感しました。感動しました。生死一如、死んだらおしまいと感じ、何はなくとも、生きているだけで幸せだ、と。これが「足るを知る」ということかと思いました。この瞬間こそが、私の一番幸福な時であったのだろう。

## ②「足(アシ)を知る」

リハビリの最中に、ふと、両脚で歩けることのがたさが身にしみました。本当に「足」の大切さが、第2の心臓といわれることを実感しました。

## ③「お足(ア)し」の大切さ

そして、最後に、「おあし」の大切さを学びました。入院治療費は本当にお金がかかります。国民健康保険の自己負担30%は常々高いと思っていましたが、この時ばかりはありがたく思えました。

退院後、生命保険、ガン保険の請求をさせていただき、保険のありがたさが良く判りました。

以上のように、本当に「足」という字の大切さを学習させられました。

この後、死ぬまでガンとはつきあわねばならないと思います。なかなか輝いて生きるということは出来ませんが、一所懸命に生きることは出来ると思います。

同窓生の皆様には、くれぐれも健康に留意され、大欲知足、ますます夢の実現を目指していただきますよう祈念しております。

## 投稿大歓迎

皆様のご投稿を待っています

旅行記、随筆、自分史、短歌、俳句、川柳など  
あるいは本紙に対する御意見・御感想、何でもOK

## 広告大歓迎

掲載料：1/10頁、1回500円

お申し込みは6回分3,000円で御願います

兵庫支部月例会7月「三金会」レポート(続き)  
忘年会について

例年通り12月第一週の土・日を予定し、一昨年開催した「カラオケひばり」を第一候補として、大村副支部長兼支部長代行が中心となって準備をすすめることになった。

## その他

支部総会への欠席通知者132名のうち、何らかのコメントをつけて返信された50人ばかりの人たちに対し、次回参加を期待して、総会の模様を報告してはどうかと発案あり。総会パンフを送るか、或いは総会レポートを掲載した本紙7月号だけを送るか検討中。

## 8月「三金会」は予定通り8月17日(金)開催確認

諸事打ち合わせ完了後、午後8時まで歓談し、その後は支部総会出演の歌手長崎晶さん経営のカラオケ喫茶「ドレミファ」へ、御礼を兼ねて訪問し、カラオケを楽しんだ後、散会。

## 「ひょうご講座」講師に北九大准教授が

2007秋期講座9/8～

兵庫県内38大学と県が連携し、様々な分野で、アカデミックで、専門的な大学教育レベルの講座を広く提供し県民の生涯学習に役立たせる目的で、大学連携「ひょうご講座」が、三宮「交通センタービル4F」の「兵庫県立神戸学習プラザ」で開講されている。

2007年秋期講座において、「BRICS経済と日本の将来」という講座科目の中で、9/15(土)と9/22(土)の二回に亘り、北九大外国語学部准教授白石麻保氏が下記のテーマで「講師を務められる。

9/15 中国経済における民間企業の台頭とその発展過程

9/22 中国経済における外資企業の役割と現状の課題

この講座は9/8(土)から11/17(土)まで11/3を除く毎週土曜日13:30～15:00、10回に亘り開講され、受講料は12,000円となっている。

この科目では、新聞紙上で良く聞かれるBRICS(これから急速に発展し、21世紀の世界経済の台風の目になりそうな新興経済圏、大きな人口と資源を抱えたブラジル、ロシア、インド、中国という四つの国の頭文字をとったもの)の発展が日本経済にどのような意味を持つのか、また今後も関係が深くなるであろう韓国とタイの経済について、その概要と日本経済への影響を解説する。

「ひょうご講座」では、その他15科目の講座があり、ご関心のある方は下記へお問い合わせ下さい。

ひょうご大学連携事業推進機構事務局

(兵庫県立神戸学習プラザ内)

〒650-0021 神戸市中央区三宮町1-10-1

神戸交通センタービル4F

Tel. 078-392-0660 Fax. 078-392-0071

## 関西支部「納涼」カラオケビア・パーティ

8月24日(金) 午後6時半から

関西支部では、毎年恒例の「カラオケビアパーティの会」を下記の通り開催する。参加希望者は、下記の連絡先へ各自直接お申し込み下さい。8月20日まで。

記

1. 日時：8月24日(金) 18:30～21:30
2. 場所：新大阪ワシントンホテルプラザ2階  
JR・地下鉄新大阪駅から徒歩3分
3. 会費：男性5,000円、女性4,000円
4. 連絡先：幹事長 鈴木 哲(鈴木事務所内)  
Tel. 06-6955-1488 Fax. 06-6955-1489

## インド便り

## 新設メダカ小学校

高森千賀子(44米英)

今年度の兵庫支部総会会場で、役員の方々と同期の方々が中心になって、メダカ小学校への寄付金を募って頂いた由、この紙面をお借りして、厚くお礼申し上げます。兵庫支部総会では毎年寄付金を頂いていますが、今年もとは予想していなかったもので、びっくりしたのと同時に、本当に心から有難く思っています。

前校長ナラヤンの不祥事で、昨年度(2006.07.01~2007.06.30)はメダカ小学校存続の危機に陥ったが、現校長アルヴィンドが東奔西走してくれたお蔭とワイロとで、どうにか年度末まで乗り切れた。

学校設立に際し、学校用地の取得、学校開設の許可は、前校長ナラヤンの名義だが、資金は全て私が負担していました。ところが学校の運営に当りミスが多く止む無く退職させたのですが、「学校も土地も自分のもの」と主張し、私が出資したと言う証明が無い為、警察やいろんな上層階級のオフィサーの力を借りて、やっと一部の資金を返却するという同意書を作成したのです。

今年に入ってから、新メダカ小学校開校の準備を進めてきました。またゼロからのスタートなので、開校の許可証が必要なのです。今度は現校長アルヴィンドの名義になっていますが、彼はこの学校は私のものだという書類を作成してくれたので大丈夫です。

許可証は近日中に発行されることになっています。通常、許可証を入手してから学校を開校するが、ここでは逆に学校がスタートしてからなのだ。こういう点はインドらしい。

今年は15名の新入生を迎え、幼稚園クラスから5年生までの全生徒数は昨年度と同じ40名だ。大多数の新入生は、今まで他校に通学していた生徒で、なかでも公立学校に通っていた生徒達は、全く学力がついていない。公立学校では教師の指導が疎かなので、4年生になっても英語の「ABC」や、国語(ヒンディ語)の「あいうえお」さえロクに読み書きできない。何年間も何を勉強してきたのか、教師は何を指導していたのかと疑う。今までわが候に在籍していた生徒との学力の差が大きすぎ、教師陣は頭を悩ませている。

新メダカ小学校の正式名は、「メダカ・チカコ小学校」で、以前と同じ名前は使用できないのと、私のビザの関係で自分の名前を入れた。しかし、通称はこれまで通り「メダカ小学校」と呼んでください。校舎は校長の家の部屋を賃借していて、旧校舎よりも300mくらい村の中心寄りになった。

8月15日はインドの独立記念日で、1月26日の共和国記念日と同様に、各学校では早朝より祝賀行事を催す。当日、生徒は身だしなみを整えて登校するわけだが、新入生には制服、靴、靴下を支給することになっている。我が校の制服は、紺色と白色の細いチェックのシャツと、紺色のズボン、又はスカートだ。それに紺色のネクタイをする。カジュラホでは既製の制服は売っていないので、オーダーとなり、昨日(7/30)仕立て屋が採寸を終えた。兵庫支部の皆様からの寄付金をこの制服代に充当させていただき積りです。

アルヴィンド校長以下、今年度からは新体制で教師一同指導に励むべく、新たな気持ちでいます。また、2~5年生の課外授業を始めて、より一層の学力アップを目指しています。メダカ小学校への、これまでのご協力に深く感謝すると共に、今後とも、ご支援の程よろしくお願い申し上げます。

## 歩こう会7月例会(続き)

帰りは下り坂の続く車道を軽快に下ってゆく。途中岡本・名越両名は近道と思える山道に入り麓の先着。山道は陽射しが遮られ涼しく快適な下山を楽しむことができた。車道を経由して下山している人達はまともに陽射しを浴びて暑いことだろうなあ、とちよっぴり優越感に浸りながらの下山だった。

山頂から登山口まで35分で戻って来た。登山口で記念の集合写真を撮り、そこから鈴蘭台駅まで一気に歩く。鈴蘭台駅に到着したのは午後2時だった。

当初予定のコースに、菊水山登山と言うおまけをつけたため、よく歩いたなあ、疲れたなあ、という思いを胸に神戸電鉄で帰路についた。



(登山口に帰り記念撮影)

## 2007明石海峡ウォークラリーに参加します

毎年11月3日文化の日に開催されている明石海峡ウォークラリーに今年も参加申し込みします。

現在参加予定者は、二宮、河野、名越、安徳、岡本山浦夫妻の7名で、参加申込をしました。

明石海峡ウォークラリーは、①大蔵コース、17km ②藤江コース、11kmの2コースあり、我々は①大蔵コースに参加します。JR朝霧駅南西の明石大蔵海岸を8:30~9:30にスタートし、ゴールは西二見、人口島にある「ノーリツ」の工場敷地内となります。

参加募集人員は先着5,000名で、8月17日消印までとなっています。申し込みはハガキに所定の申込様式に必要事項を記入して郵送。

参加ご希望の方は、二宮事務局長にご連絡いただくか、または下記の主催者事務局にお問い合わせ下さい

明石海峡ウォークラリー事務局

電話：078-334-2810

兵庫支部 二宮事務局長

携帯：090-5010-4954

## 進水式に行ってきました

安徳幹事長の甥御さんが設計に関わったという川崎造船のバラ積運搬船“ANNA-MARIA”号の進水式に行ってきました。

当日、8月3日は台風5号が関西に接近中で、進水式の直前まで雨と強風の為、受付用に用意されたテントは吹き飛ばされ、急遽食堂で受付が行われたが、式の始まる頃には小康状態となり、新造船が海に向う頃は傘も不要で、無事生まれて初めて見る進水式をカメラに収めることが出来た。船は全長約189m、幅約32m、深さ17.8mという事で、間近に船底から見上げる船はとてつもなくデッカク見えた。

(名越記)



### 歩こう会 7月例会

## 神戸の新名所「石井ダム」と菊水山登山

支部総会の終わった翌日の7月8日(日)歩こう会7月例会が開催され、二宮慶治郎(38米英)歩こう会会長、安徳信義氏(44商)及び名越英昭(37米英)の同窓生3名とゲスト参加の岡本常一氏及び山浦夫妻の3名、合計6名が参加した。

神戸電鉄鶴越駅に午前10時集合し、六甲全山縦走のコースとなっている同駅南側の林道からスタートする。比較的なだらかな勾配の林道は、鬱蒼と茂る木々に陽射しが遮られて涼しく、快適に歩を進める。



(鶴越駅に集まった参加者達)

十分ばかり歩くと、先月バーベキューを楽しんだ鳥原貯水池から登ってくる舗装道路に出会う。少しばかり舗装道路を歩いて、右折して菊水山登山口へと向う



(整備された遊歩道から左折)

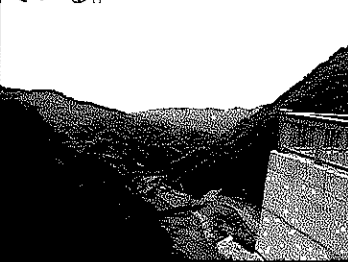
小道に入る。この辺りは縦走コース試走(歩)で馴染みのある道だ。鳥原ポンプ場を過ぎ、鈴蘭台下水処理場を過ぎ、登山口へと登ってゆくと、登山口近くになると従来の縦走コースとは

違っているのに気付く。石井ダム完成に伴い遊歩道が整備され、縦走コースが少し変更になったようだ。石井ダム方面への道標に従い、左折して暫く進むと、前方に大きなダムが見えてきた。石井ダムは昨年11月に完成したばかりで堤高66.2m、堤頂長は155mの重力式コンクリートダムで、洪水調節を目的として作られたものであり、人の操作の必要が無い自然調節方式が採用されている。



(石井ダム)

石井ダムのある鳥原川は、鳥原貯水池の上流で石井川と合流し、更にその下流で天王谷川と合流して新湊川となって神戸市街地を流下して大阪湾へ注ぐ。表六甲山系の河川では最大の河川であり、昭和13年と昭和42年に大洪水をもたらしている。



(堤頂からの眺望)

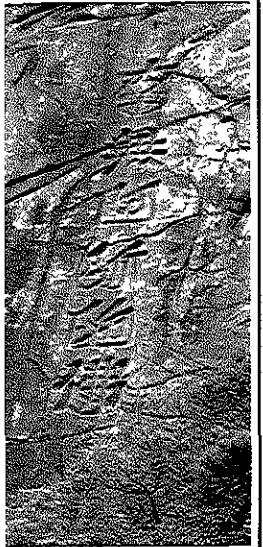
石井ダムはレクリエーション多目的ダムとして作られ、親水広場や多目的広場等もあり、市民の憩いの場として開放されている。

鶴越駅を出発して約40分でダム下まで到着した。ダム横の階段(310段)を息を切らしながら頂上まで

上ると、堤頂からの眺望は素晴らしく、遠く神戸市街

地(兵庫辺りか?)も見える。

しばらくダム上で散策、小休止した後、ダム湖岸沿いの道を鈴蘭台方面へと向う。5分ほど歩くと左手に「南無阿弥陀佛」と彫られた大岩が見られる。名号岩(妙号岩とも言われる)で、約150年前に僧侶が旅人の安全を祈願して彫ったものとのこと。また、この辺りの岩場は約55mの高さがあり、昔からクライマーに愛されていると案内書にあり、丁度我々が通りかかった時も、テッペンから、ロープを伝って下りてくる姿が遠望出来た。



ダム湖上流辺りの整備された石垣に、先行して歩いていた安徳氏が1m余りの蛇の抜け殻を見つけた。(名号岩)

後続の人たちに知らせたいと暫く待機する。後から来た人たちにストックで指差すと、感鋭く「蛇?」と山浦夫人は一瞬たじろいだが、抜け殻と知り安心して前を通過。



(抜け殻を示す安徳氏)

神戸電鉄鈴蘭台車庫前を通り過ぎると、鈴蘭台側からの菊水山登山口にやってきた。ゴールの鈴蘭台駅まで十分程度と思われる。この辺りで昼食でもとの声もあったが、時間はまだ11時半である。少し歩き足りない思いと、こちらからの登山は比較的なだらかな坂道だったと記憶している、との声に思い切って菊水山頂を目指すことに決し登山道へと入っていった。

3~40分くらいかなと高をくくって登り始めたが、意外にきつい上り坂が続



(菊水山頂を目指して)

き、すぐにあごをだしてしまった。後で判ったことだが、比較的なだらかな坂道とは、車庫前付近から頂上までの車道のことだったのだ。



(菊水山頂のアンテナ塔)

あえぎ喘ぎ、時々立ち止まって水を補給しながら、ゆっくりと登ってゆく。鈴蘭台高校グラウンド?の横を通りすぎ、途中車道に接し、再度山道に入り、やっと菊水山頂のアンテナ塔が見えてきたのは登山口から約1時間後の12時半頃だった。

ここで昼食を取り、山頂からの眺望を楽しむ。石井ダム完成までは山頂の展望台付近は目隠しされていたが、今は取り除かれており、石井ダムが遠望できる。

(3ページへ続く)